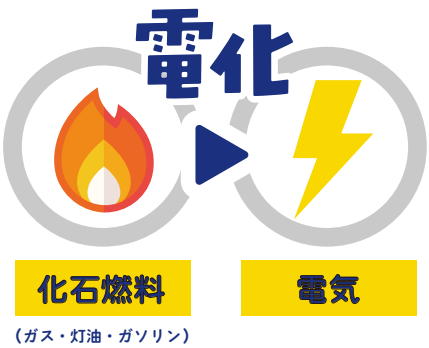
再エネでんきに変えて
地球と暮らしをまもる

DENKA

いま、世界で「電化」が注目されています

近年、酷暑や異常気象、エネルギー不安や物価上昇など、気候変動の影響や化石燃料の依存リスクが私たちの暮らしにあらわれています。地球の気温上昇を安全なレベルに抑える世界的な約束「パリ協定の 1.5℃目標」を守るため、いま世界中で「電化（でんか）」が合言葉になっています。実は、2026 年にトルコで開催される国連会議・COP31 では「2035 年までに世界の電化率を 35% にする」という目標も話し合われる見通しです。日本の電化率は諸外国と比べても低くありません。でも、世界をリードするため、もっとできることはあります！ 私たちの暮らしを守り、地球の未来を明るくする「電化」。世界の流れに取り残されないため、キーポイントをチェックしてみましょう！

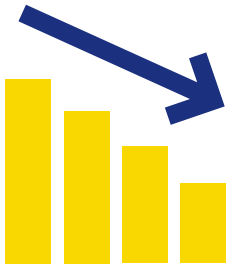
基礎知識



「電化」ってなに？

電化とは、これまでガスや灯油、ガソリンなど「化石燃料を燃やして」生み出していたエネルギーを、「電気」に切り替えることです。例えば、ガソリン車から電気自動車（EV）へ。ガス給湯器から電気のヒートポンプ式給湯器へ。灯油ストーブから高効率エアコンへ。CO2 排出量を減らし、海外の化石燃料輸入から脱するための第一歩です。電化を進めるのと同時に省エネ化と、CO2 をほとんど出さない再エネへの切り替えも不可欠です。

なぜいま「電化」が重要なの？



長い目で見ておトク！

電気のヒートポンプ技術などは、少ないエネルギーで大きな力を生み出せるため、とっても省エネ。初期費用はかかるけど、毎月の光熱費や燃料代をグッと抑える可能性があります。



海外の化石燃料から卒業できる

日本はエネルギーの多くを海外からの化石燃料（石油や石炭、天然ガス）に頼っています。世界情勢で価格高騰の影響を受けないようにするためにも、国内でつくれる再エネ電気にシフトすることが家計の安心につながります。



気候変動の進行を止めるために

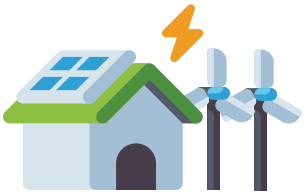
気候変動の最大の原因は化石燃料です。化石燃料から再エネ電気にシフトすれば、CO2 排出を大きく減らすことができます。未来の世代に美しい地球を残すための必須アクションです。

「電化」を進めるときの重要ポイント！



「省エネ」の徹底が前提

家や職場の断熱性を高めたり、家電を最高の省エネ性能のものに買い替えたりと、まずはエネルギーのムダをなくすことが大前提です。



「再エネ」ベースの電気へ

使う電気そのものが、火力発電ではなく、太陽光や風力といったクリーンな「再生可能エネルギー」でつくられていることが重要です。



「だれも取り残さない」支援を

お金持ちだけではなく、電気代高騰のインパクトに苦しむ人たちにこそ、手厚い省エネ・再エネ電化の補助が行き届く必要があります。

始めよう！くらしでできる再エネ電化

1 POWER

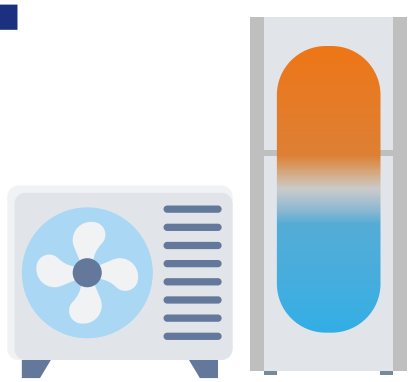


再エネの電力プランに切り替える

電力会社との契約プランを、再エネ中心のプランに切り替え！「パワーシフト・キャンペーン」の HP からベストなプランを探しましょう。

power-shift.org

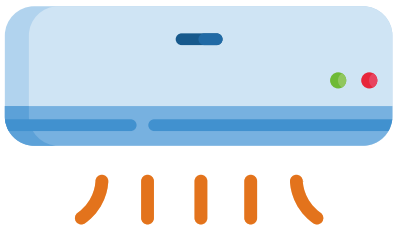
2 BOIL



お湯は「ヒートポンプ給湯器」へ

ガス給湯器が寿命を迎えたら、空気の熱を利用してお湯を沸かすエコキュートなどの「ヒートポンプ給湯器」への切り替えがおすすめです。

3 HEAT



古い暖房を「高効率エアコン」へ

古い灯油ストーブを使っているなら、最新の省エネ性能が高いエアコンに切り替えるだけで、大きな節電＆省エネになります。窓などの断熱を強化するのもおすすめ！

4 DRIVE



車は「電気自動車（EV）」へ

自動車を買い替えるなら、ガソリン車やハイブリッド車ではなく、電気自動車（EV）を。家で充電すればガソリン代より安く済み、災害時にはバッテリーとしても使えます。

350 JAPAN 【発行元情報】

発行：国際環境 NGO 350.org Japan | 発行日：2026 年 10 月 21 日

お問い合わせ：japan@350.org | Web サイト URL https://350denka.jp